

1 本年度の重点目標

(1) 安心・安全な教育活動の展開	(2) 地域の教育力を活用した教育活動の推進
(3) 本校魅力化に向けた関係機関との連携	(4) 教育活動の積極的な発信

2 自己評価結果・学校関係者評価の結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	主体的・対話的な学びの質の向上に向けて、中高連携による授業交流等とおして改善を図る必要がある。また学習意欲を高める観点別評価や学習習慣の定着に向けた取組の工夫が求められる。	家庭学習の定着に向けた方策として、インターネットや学習アプリ等の効果的な活用の促進があげられた。
改善の方策	(1) Classi や学習アプリの有効活用が家庭学習につながるよう工夫・改善を行う。 (2) 中高連携による授業交流とおして、ICT の効果的な活用や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を継続する。	
生活指導	いじめの積極的な認知と組織的な対応を行い、未然防止に向けてピア・サポート学習を継続した。	いじめの積極的な認知といじめ対策委員会を中心とした組織対応やいじめの未然防止に向けたピアサポート学習について評価をいただいた。
改善の方策	(1) いじめの組織的な対応について、教職員で共通理解を図り、いじめの未然防止や初期対応を徹底する。 (2) ピアサポート学習を継続し、生徒が互いを認め、助け合い、支え合う関係を構築するとともに、ボランティア活動や地域社会との交流とおして、他を思いやる心の育成を図る。	
進路指導	生徒一人ひとりの進路実現に向けて、教職員が生徒に寄り添った指導を行い、一定の成果を得られた。今後も多目的進路実現校として、個々の生徒に応じた進路支援を行えるよう工夫・改善を行う必要がある。	生徒一人ひとりに寄り添った進路指導と成果について評価をいただいた。士別市と連携した課題探究や市の様々なイベントへの積極的な参加・協力についても評価をいただいた。
改善の方策	(1) 進路説明会や各種講演会、進学講習や卒業生講話等の実施を継続し、保護者への情報提供とともに、生徒の進路実現に向けた支援を充実させる。 (2) 引き続き地域・大学との連携を深め、職場体験学習や高大連携事業等を活用し、生徒の進路実現に向けた支援を継続する。	
健康安全指導	特別支援・教育相談委員会を中心に、不登校生徒の支援に係る別室対応について、教務部・当該学年との連携を深めることができた。	様々な課題や支援を必要とする生徒に対して、特別支援・教育相談委員会を中心とした対応に評価をいただいた。
改善の方策	(1) 教職員の共通理解のもと、別室支援の必要な生徒に対する支援体制を検証し充実を図る。 (2) スクールカウンセラー等の活用を継続し、外部機関と連携した生徒・保護者への支援体制の充実を図る。	
信頼される学校づくり	異校種間との交流や地域と連携した様々な教育活動を継続し、一定の成果を得ることができた。また、こうした取組は地域から好評価をいただいている。	地域と連携した取組が新聞記事等で取り上げられていることについて、評価をいただいた。
改善の方策	(1) 地域や自治体との一層の連携・強化を図るとともに、情報発信を強化する。 (2) 学校の魅力化に向けた取組を将来像検討委員会を中心に外部機関との連携を含めて検討する。	
組織運営	働き方改革の推進に向けて、校務の効率化や業務偏重の改善に課題がある。	業務縮減・効率化に向けて教育活動の推進に係る地域や外部機関との連携について助言をいただいた。
改善の方策	(1) 働き方改革コア・チームを中心に、業務の効率化の推進を図る。 (2) 地域・外部機関との連携を推進し、教職員の業務縮減や負担軽減を図る。	
教職員の資質向上	教職員の新たな研修制度が開始されており、教職員の自発的な研修の受講に向けて定期的な面談や研修機会の提供をより促進する必要がある。	教職員の服務規律の遵守に対し評価をいただいた。
改善の方策	(1) 不祥事防止に向けた研修や通知文の活用等とおして、教職員への意識の啓発を継続して行う。 (2) 教職員との面談や日常的な対話とおして、心理的安全性を確保し、教職員の学校内外の研修の積極的な参加に向けた機会を提供する。	
公表方法	(1) PTA役員会・総会、学校運営協議会における説明 (2) 学校ウェブサイトへの掲載	